

第 1 回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) 20時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
<p>() 車社会では道路整備をしないと混乱が起きる。スムーズに通れる道路が欲しい。地域の発展のためにも道路は核となる。地域の人だけでなく、日本全体の人ができる道路が大事と考える。税金は目的税で取っているの、その配分を辞退することはない。</p> <p>() 地域高規格道路は必要無いと考える。1kmにつき30億円～50億円かかる。道路は南北4本あり、渋滞は緩和されている。自然が壊れるのが怖い。農地、田んぼの減少、排気ガスで空気が汚れる。ダイオキシンを吸う木を切ってしまう。未来の子供たちに自然を残してあげたい。現に行われている公共事業を見ると自然が破壊されている。必要なのは生活道路の充実であり、子供お年寄りが安心して歩ける道路作りである。今も赤子を抱えている。生活が成り立たないのに道路だけ造っても</p> <p>() 道路建設が必要なのかどうかを考えることが一番大事。諫早湾は失敗し、田中知事の脱ダム宣言でダムが見直しされている。他のレジャー施設などできても、つぶされているところも多い。人間が造ってきた構造物が環境に悪い影響を及ぼし壊されてきている。箱物や道路を造ることが、政治家の旗印としてやってきたが一人一人の人間として、何が大事か立ち止まって考えなければいけない時。今は何もしないことが良いと思う。</p> <p>() 農道道路を造った時は、農家の発展の為に必要だったが10年も経ったら百姓の車は通れる状態ではない。高規格道路もバイパスと言っているが、既存の道路との関係がわからない。道路の説明がなされていない。今の道路利用との比較も考えなければいけない。現在は糸魚川まで2時間で行ける。また既存の店をつぶしてしまうことにもなる。穂高は中心部が空洞化している。年寄りには近くで買い物もできない。</p> <p>() 高規格道路は何年後の開通になるのか？開通する時の県の人口比、財政状況の予測はどうか？一般財源からの県の支出はいくらか？遠い将来の開通なら今、子供が少なくなっているのだから将来、車を運転する人も減る事になる。</p>			

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) 20時00 ~ 21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- () 2つ検討しなければいけないと考える。1つは道路の目的「広域的地域発展のネットワークとしての道路建設」と位置づけて、その為の調査をされてきているがいつの時点での調査なのか？高度成長期の調査では現在の状況と違う。情報公開で資料を入手したが、数字ばかりでわかりにくかった。その資料を元にもどのように考えて建設するのが知りたい。
2つ目は町に与える影響。町の10ヵ年計画がH11年に第4次計画として出ている。そこに高規格道路も必要という文章があるが、土地利用計画と産業計画との整合性がない。県の立場と町の計画にどの程度の妥当性・整合性があるのか？穂高町は農業、観光、商業が平均している。農業をベースに美しい景観があり、景観を元にペンションなど観光業に携わる人が多い。そこに高規格道路が通った時、経済に与える影響はどうなのか？町に対する影響が大きい道路が通るのにそういう変化を県が真剣に考えてはいないのではないかと危惧する。
- () メリット・デメリットが書かれているメリットは本当にそうなのか疑問に思う。交流連携とあるが今までは無かったのか。地域産業に与える影響というのはどういうメリットなのか？病院へのアクセスというのなら他の方法が良い。ヘリポートとか、病院を建設するとか、その方が田や畑、林を壊さずに済む。災害時の交通の確保は既存の道路整備で解消できないか？メリットに書かれていることが本当なのか？
- () 去年の1月初めて高規格道路の計画を知った時、まず景観を壊すのではないかと、大きな問題だと思った。この景観を壊してまでものメリットがあることなのか？デメリットは誰が見ても予想がつくが、メリットは絵に書いた餅でわからない。費用対効果などメリットがわかるような資料をわかり易い資料で出してもらいたい。交流が盛んになれば安曇野に来る人が増える。国营公園では年間200万人の観光客というがどうなるのか。北小では去年3名の児童が交通事故に遭い1人が亡くなってしまった。今は、自転車道路も無いような道路であり、子供たちが安心して通学できる道路造りの方が先である。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) 20時00~21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- () 大北の議員大会で、現在でも「道が良くなって交通量が増えたらうるさくて眠れないところがある」という話があった、そういうことをどう考えているのか？災害時の為に、リニヤを通すのが良いと言っている記事があったがそれはおかしい。地上が危険なのにその上に建つものが安全なわけがない。新しいものを造ればそれがいいというのではない。トンネルを掘っても地震に耐えられるのか。道路を造る根拠が欲しい。
- () 高規格道路を造れば地域の交通量が減る。今の時代、道路反対はありえない、どういう道路を造るのか？ではないか。道路関係の税金を皆払っているのだから地域にも使うようにしたい。どうゆう道路が良いのか建設的な意見が出るよう司会進行してほしい。高規格道路は全国的に計画がある。安曇野がおいで行かれてしまう。
- () 安曇野発展の方法はいろいろある。昔に計画された道路が今も妥当なのか、再検討の必要がある。穂高を通ることが明らかになった。松本～糸魚川道路は必要なのかもしれないが、穂高にとって必要なのかも考えたほうが良い。
- () 長野県内に伊那市と木曾を結ぶ高規格道路が建設中である。観光客が沢山来ているが木曾谷の商店は戦々恐々としている。安房峠が開いたので飛騨高山に人が流れてはいるが、松本には流れていない。国体道路の渋滞緩和の為に城山～三才山道路を造ったが、城山トンネルを通る人が少ない。木曾福島では片道3分に30台の車がつながっている。不景気の為トラックが運賃を削って19号、20号に流れている為である。
この様に経済の見通しはどうなるのか？手離しで人が多く来るとは思えない。建設費は1kmにつき30億円～50億円で100kmなら3000億円～5000億円となるが、これは建設費のみであり土地買収費は入っていない。どれ程ふくらむのか費用が聞きたい。国であれ県であれ税金が使われるのだから。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 18日(火) 20時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- () 子連れとして発言したい。できたあかつきの良し悪しが言われているが、これだけのお金を使っていつ出来るのか？将来に向けて借金は増え、環境は悪くなるばかり。子供がおなかにいた時、子供の為に2時間歩くように言われたが、2時間安心して歩ける道が無かった。今ある道を使い分けて、知恵を出すのが大事であり子供たちに借金を残すようなお金を使うことではない。
- () 3人の子供がいる。子供の友だちが交通事故で亡くなった。そこは小学校の近くでありながら、歩道がなかなか出来なかった。松～糸道路ができて便利になって嬉しいという気持ちは無い。それよりも一般道路の安全を願っている。高規格道路は冬に大量の塩化カルシウムを使用する。穂高の水を汚し、湧き水を汚す。それでもお米は作られる。高規格道路のメリットが実感できない。
- () 最後に書記の意見として(当日は記録するのに精一杯で発言の機会を逃した) 今回の意見交換会は自主運営として全てグループに任せているが、司会進行、書記は県ですべきではないか？県職員も話し合いの場について対応できるところは対応して意見を聞くべき。今後の意見交換会の方向も見えない。県の考えを聞きたい。

次回は、10月13日(土)7:00～ 町民会館で